

■並木五瓶(初世)
なみきごへい
義経千本桜・1747＝

歌舞伎狂言作者。上方で不動の地位後、江戸に下って歌舞伎革新，上方を超える契機をつくった。

生。大坂道修町の役木戸和泉屋の子。

徳川吉宗没・1751＝ 4歳：

・・・・・・1756＝ 9歳：

大岡忠光没・1760＝13歳：

蘭銭初輸入・1765＝18歳：

初世並木正三(一説では並木十輔)に入門し，

久留米藩工事1768＝21歳： 此の頃から並木五八(のち吾八，呉八)の名で浜芝居の作者を勤める。

田沼意次老中1772＝25歳： 大芝居に進出。

解体新書・・・1774＝27歳：

・・・・・・1777＝30歳： 五兵衛と改める。＊嵐雛助のために「天満宮菜種御供」，
ワッ船蝦夷来 1778＝31歳： 「金門五山(三) 桐)」など傑作を書き，大坂劇壇随一の人気作者となる。

・・・・・・1780＝33歳： 「帰命曲輪＊」，

天明大飢饉始1782＝35歳： 「けいせい黄金＊」，
蘭学階梯・・・1783＝36歳：

意知刺殺事件1784＝37歳： ＊浅尾為十郎のために「けいせい倭莊子」，4世市川団藏のために「思花街容性」などを書き続け，上方における地位を不動のものにする。

田沼意次失脚1786＝39歳：

初の横綱・・・1789＝42歳： 「韓人漢文手管始」，

ラクスマン来日・ 1792＝45歳： 「同計略花芳野山」，
松平定信引退1793＝46歳： 「平井権八吉原衢」。 五瓶と改める。
オランダ 正月・ 1794＝47歳： 3世沢村宗十郎の推薦で江戸に下り， 3世瀬川菊之丞一座の立作者となる。
写楽・・・1795＝48歳： ＊「江戸砂子慶曾我」の二番目に大坂での前年作「島廻戯聞書」の一部「五大力恋絨」を出し大当りを取る。
フートン来航 1796＝49歳： 「隅田春妓女容性」。 此れにより， 五瓶の曾我二番目の世話狂言は古式を破り別名題をたてることになる。
昌平黉始・・・1797＝50歳： 「青楼詞合鏡」，
古事記伝・・・1798＝51歳： 「富岡恋山開」などを書く。
蝦夷地直轄始1799＝52歳： 一時帰坂したが，

宣長没・・・1801＝54歳：

再び江戸にもどり，

バツノ報復・ 1806＝59歳： 「略三五大切」，

フェートン号事件 1808＝61歳： 没した。
翌年，「俳諧通言」刊。